

高齢者運転免許自主返納者優遇店ガイドブックの作成

委託事業 任意の業者

実施目的

- ア 運転免許の自主返納促進
イ 高齢者の交通事故防止
ウ 交通事故総数の減少

実施場所 県内

対象者 高齢者（※1）

開始年度 平成28年

予算 1973 千円

実施内容

（事業内容）

優遇店（協賛事業者）の拡充を図り、運転免許自主返納者が安心して生活できるようなサポートを図る。

令和8年度版は、531店舗を掲載。

（実施方法）

- ・運転免許自主返納者の中心となる高齢者のニーズが高いサービスを中心に、協賛事業者の拡充や内容の充実を図る。
- ・Webサイトの運営による利用者の利便性の向上や、運転免許自主返納者の増加を図る。
- ・協力団体の連携による、さらなるガイドブックの活用を図る。

（※1）県内在住の65歳以上の運転免許自主返納者が対象。

URL

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/ippannokata/bosai/kotsuanzen/7215726/>

高齢者自転車安全運転競技大会

委託事業 徳島県老人クラブ連合会

実施目的

高齢者が当事者となる交通事故の割合が高い現状を踏まえ、高齢者を対象とした自転車安全運転競技大会を実施することにより、自転車の安全利用と交通マナーの向上を図る。

実施場所 徳島県運転免許センター

対象者 高齢者

開始年度

予算 270 千円

実施内容

（事業内容）

実技テスト（指定コースの走行）と学科テストの総合点数により、チームの順位を決定し表彰を行う。

（実施方法）

1 チーム 3 名、補欠 1 名で構成。

○実技テスト

指定コースを各チーム 3 名が走行し、各ポイントでの減点方式により採点して実施。

○学科テスト

各チーム 3 名が参加して、交通法規、交通規制、適正な自転車利用等の出題に対して、○×方式で解答。

出題25問、制限時間20分。

URL

高齢者交通安全活動推進事業

委託事業 徳島県高齢者交通安全推進員協議会

実施目的

- ア 交通死亡事故の抑止
イ 交通事故総数の減少
ウ 高齢者の交通安全活動の活性化
エ 交通安全思想の普及

実施場所 県内各地（※1）

対象者 高齢者

開始年度 予算 1150 千円

実施内容

（事業内容）

高齢者を対象とした交通安全街頭活動や交通安全教室の開催等、高齢者の交通安全活動の活性化を図り、交通安全思想の普及促進を実施する。

（事業方法）

徳島県高齢者交通安全推進協議会が、県下15地域の実態に合わせた事業計画を立て、交通安全街頭活動等を実施する。

（※1）徳島県高齢者交通安全推進員協議会各支部が指定した場所で実施。

URL

こども

中高生

チャイルドシートベルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒運転根絶

その他

交通安全母親活動推進事業

委託事業 徳島県交通安全母の会連合会

実施目的

こどもの交通事故防止のため、交通安全思想の普及活動を展開する。

実施場所 県内教育機関等（※1）

対象者 幼児、小学生、中学生

開始年度

予 算 1650 千円

実施内容

（事業内容）

幼児、小中学生を対象とした交通安全教室を開催するとともに保護者等を対象とした交通安全指導、研修会等を開催する。

（実施方法）

県下15地区の交通安全母の会が、それぞれの地区において、幼児や小中学生を対象に交通安全教室等を実施する。

（※1）幼稚園・認定こども園・小中学校等で実施。

URL

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシートベルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒運転根絶

その他

挙県一致交通安全県民大会

直轄事業 徳島県交通安全対策協議会

実施目的

- ア 交通死亡事故の抑止
イ 交通事故総数の減少
ウ 交通安全思想の普及

実施場所 徳島市内のホテル

対象者 県民

開始年度 平成28年

予算 789 千円

実施内容

(事業内容)

県民に対する交通安全思想の普及促進、交通安全推進条例の周知を目的とした県民大会を開催する。

(実施方法)

徳島県知事、警察本部長、県議会議長等の出席による県民参加型のイベントを開催することにより、痛ましい交通死亡事故を抑止し、県民の交通安全意識の高揚や交通事故のない安全安心な徳島県づくりの気運を盛り上げ、各種施策や活動の強化を図る。

URL

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシートベルト

啓発イベント

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒運転根絶

その他

自転車ヘルメット着用促進モデル事業所等登録事業

直轄事業

実施目的

働く世代をターゲットとして「自転車ヘルメット着用促進モデル事業所」を募集し、広い世代における自転車ヘルメットの着用率向上を図る。

実施場所

県内

対象者

徳島県内の事業所

開始年度

令和6年

予算

300千円

実施内容

(事業内容)

徳島県内の事業所に対し、モデル事業所の募集及び登録を行い、事業所等において働く世代に向けて自転車ヘルメット着用促進及び着用啓発を実施する。

(実施方法)

登録した事業所の取組等を県HP等に掲載し、事業所のイメージアップと県内事業所のヘルメット着用に対する機運の醸成を図る。

URL

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/ippannokata/nyusatsu/itaku/7243643/>

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
シートベルト啓発
運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒
運転
根絶

その他

モデル地区指定による反射材の普及促進

直轄事業 徳島県交通安全対策協議会・徳島県警

実施目的

- ア 交通死亡事故の抑止
イ 夜間の交通事故防止
ウ 交通安全意識の向上

実施場所 県内各地（※1）

対象者 夜間の歩行者（※2）

開始年度

予算 680 千円

実施内容

（事業内容）

夜間に歩行者が被害となる交通事故を減少させるため、反射材等（反射たすき、LEDライト等）を配布し、反射材等の促進、普及啓発を図る。

（実施方法）

各警察署が交通事故発生状況や危険箇所の情報等を分析し、指定したモデル地区において、重点的な配布活動及び啓発活動を実施する。

（※1）各警察署において指定したモデル地区で実施。

（※2）特に高齢者が対象。

URL

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシートベルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒運転根絶

その他